

折り り 梅

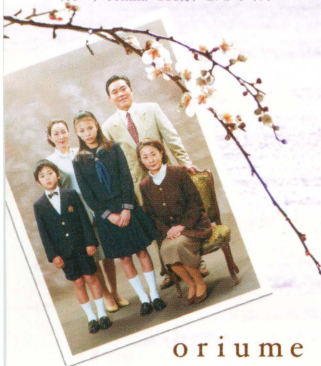
「真実」に—
うれしい涙が止まらない

【ユキエ】の
松井久子 監督作品

ありのままを受け入れよう・・・
それが家族の絆になった
そして私の世界も広がっていった

原田美枝子
吉行 和子
トミーズ 雅
田野 あさ美
三宅 零治
金井 克子
乾 貴美子
岡本 麗
中島 ひろ子
加藤登紀子

製作・監督: 松井久子
原作: 小宮もと子
(「忘れても、しあわせ」日本評論社刊)
脚本: 松井久子 / 白鳥あかね
エグゼクティブ・プロデューサー: 堀島昭英
プロデューサー: 新藤次郎 / 里中哲夫
アシエイト・プロデューサー: 吉井久美子
音楽: 川崎真弘
撮影: 川上皓市
照明: 水野研一
録音: 芦原邦雄
美術: 斎藤岩男
編集: 渡辺行夫
製作: (株)エッセン・コミュニケーションズ 制作: (株)近代映画協会
協力: 豊明市映画製作実行委員会 協賛: 三共株式会社 / 第一製菓株式会社
助成: 芸術文化振興基金 配給: サンライズ・シネマ・ワーク
© ESSEN COMMUNICATIONS, INC. 2001・2002
カラー / 35mm / 111分 / ビスタサイズ



oriume

〔文部科学省 特別選定〕
厚生労働省 推薦

高齢者となるすべての人間が観るべき
映画です。吉行和子は立派です。

おすぎさん(映画評論家)

映画を観なくなった中高年必見の映画。
吉行和子の美しくも哀しい痴呆ぶりに涙涙涙。

ピーゴさん(服飾評論家)

実の母と違い、義母には
同性としての違和感がつきまとう。
それをのりこえるヒロインを
原田美枝子がさすがしく演じている。

田中千世子さん(映画評論家)

それは、ある日突然、平和な家庭にふりかかった……。

名古屋郊外のベッドタウン、愛知県豊明市。サラリーマンの夫・裕三とパート勤めの妻・巴、
中学生と小学生の子ども二人の4人家族に、夫の母・政子が同居することになった。

ところが同居して間もなく、政子が変調をきたし始める。

雑巾を縫ってはそれを忘れてしまい、毎朝、巴に雑巾を渡す。

かと思えば、突然激昂し、巴が政子のためにつくったお弁当をぶちまける。

巴は嫌がる政子を病院に連れて行き、そこで政子はアルツハイマー型痴呆症と診断される……。

『折り梅』は、義母がアルツハイマー型痴呆症になったことで、崩壊しかけた家族が、

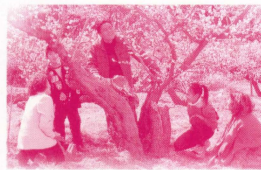
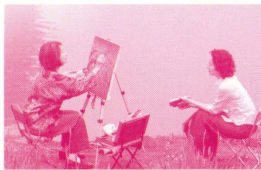
さまざまな葛藤を経て、見事に再生した実話を通して、人間の無限の可能性を描いた感動作である。

その過程と思ひもかけない展開は、見る者に素晴らしい希望を与えてくれることだろう!!

『ユキエ』の 松井久子 監督作品

折り梅

oriume



『ユキエ』から広がったネットワーク。

作り手と観客が一体となって、1本の映画が完成!

初監督作『ユキエ』で、アメリカ人の夫とアルツハイマーに冒された妻との強い絆を描き、高い評価を受けた松井久子監督。『ユキエ』の自主上映会は全国で600回以上を数え、それにより松井監督と人々との直接の交流が各地で広がった。監督が本作の原作「忘れても、しあわせ」(日本評論社刊)の著者・小菅もと子さんと出会ったのも、『ユキエ』上映会の席。映画化を希望した監督を後押しするかたちで市民運動が盛り上がった。小菅さんの住む愛知県豊明市の市民たちが映画製作実行委員会を結成し、さらに愛知県犬山市を中心に『折り梅』応援団が組織されるなど、熱いネットワークが全国規模で展開。こうして資金集めから撮影協力まで、作り手と観客が一体となり1本の映画を作り上げるという快挙を成し遂げた!

演技派・個性派たちが集結!

等身大のリアルな熱演に誰もが共感!

夫の母の変化に戸惑い、苦しみ妻・巴を演じるのは、『愛を乞うひと』で映画賞を総なめにした原田美枝子。痴呆の義母との関わりを誠実に模索する嫁をリアルに演じている。一方、痴呆症に見舞われ、自分を失っていくことへの恐怖から巴に苛立ちをぶつける義母・政子に、舞台・映画のベテラン・吉行和子。二人の等身大の存在感がドラマにリアリティをもたらし、観るものの胸を打つ。この他、朴訥な個性が光るトミーズ雅、多方面に活躍する加藤登紀子など、多彩な演技陣が、作品に独特の魅力を添えている。

「折り梅」オフィシャルサイト

www.oriume.com

推薦

(社)日本PTA全国協議会 (財)さわやか福祉財団 (財)ほけ予防協会
(社)呆け老人をかかえる家族の会 特定非営利活動法人 全国高齢者ケア協会
新老人の会 あらゆる障害者の交流を目的とする市民の会
日本生活協同組合連合会

2002年<春>らんまんロードショー!!

特別鑑賞券・絶賛発売中! 一般券¥1,500(当日¥1,800)
ペア券¥2,800

★劇場窓口にてお買い上げの方にオリジナル・ポストカードをプレゼント

シネスイッチ銀座

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り tel.03-3561-0707

